

標準施工要領書

クランクレイザー

ヤブ原産業株式会社

〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546

TEL 048 (297) 4111 (代)

1. 特長

- 混ぜる→流し込む→削る だけの簡単施工
- Vカット不要でクラック（ひび割れ）に施工可能
- カチオン性粉末樹脂配合で高強度、高接着、高耐久
- コンクリート近似色で施工跡が目立ちにくい

2. 必要な材料・道具類

- クラックイレイザー本体
- 計量カップ（付属品）
- 手袋
- ブラシ、エアスプレー（清掃用）
- ヘラ、スクレーパー、皮スキ
- ウェス

3. 下地について

- コンクリートの床に発生した0.2～2.0mm程度のクラックの簡易補修材料です。
- 床面のタイル、石材等のモルタル目地に発生したクラックの簡易補修材料です。（タイル、石材は念のため養生してください。）
- 構造クラック（貫通クラック）の補修には適していませんので、ご注意ください。

3. 工程表

工程	材料名	調合	使用量 (g/m)	施工器具	工程間隔 (時間)
処地	清掃	—	—	ブラシ類 エアスプレー	—
流し込み	水注入	—	適量	カップ ブラシ類	直後
	クラックイレイザー	400	11~16	専用容器 計量カップ	1~2 (20℃の場合)
	水	160	4.5~6.4		
仕上げ	削り	—	—	ヘラ 皮スキ スクレーパー	直後
	拭き取り	—	—	ウエス	12時間以上

備考) 使用量は原液換算とする。

4. 施工方法

4-1 下地処理

- 補修するクラック内の土、埃等はあらかじめブラシ、エアスプレー等によく清掃し、除去します。

4-2 混練

- クラックイレイザーの容器のふたを開け、計量カップを使用して、容器に160ccの水を注ぎ、ふたを閉めて、よく揉みながら全体が濡れ色になるまで混練します。
- 計量カップは100ccなので、一度に計量できません。100ccと60ccに分けて計量し、注ぎ入れる際、水や粉体がこぼれないように注意します。
- 容器の角等は混ざりにくいですが、入念に粉体を移動させて、全体を混練します。
- 小分けにして使う場合は本製品100に対して水40の比率（重量比）で混練してください。

4 - 3 流し込み

- 充填する クラックに沿ってにカップ等で、水を注ぎ、ブラシ等でクラック内及び周辺を濡らします。内部まで充分湿らせます。
- ノズルのキャップを取り、ノズルを先端から3～5 mm程度の位置でカットし、クラック沿って充填します。クラック内部に浸透して材料が下がった場合は表面が埋まり、少し盛り上がるまで何度か充填します。
- ノズルからの吐出量が少ない場合は、さらにカットして、調整します。
- 充填中セメント分が沈降して、出が悪くなることがあります。時々容器を振って攪拌してください。
- 先端が詰まった場合は、細い針金、ゼムクリップの先端等でつつき、つまりを取り除くか、水洗いしてください。

4 - 4 削り、ふき取り

- 1時間から2時間程度（気温20℃の場合）静置し、しまってきたことを確認し、余分な材料をヘラ、皮スキスクレーパー等で削り、表面を平らにします。
- クラックからはみ出た周囲の材料は、ウエス等できれいに拭き取ります。
- 取りにくい時は、ウエスを濡らし、かたしぼりして拭き取ってください。
- 長く放置すると、取りにくくなります。

5. 施工上の注意

- 既調合品なので水以外は加えず、規定量を必ず守ってください。
- 水と混ぜてから2時間以内（20℃）に使い切ってください。
- 混練した材料を放置しておく、セメント分が沈殿する場合がありますので、時々容器を振って混合してください。
- ノズルの先端が詰まった場合は、ゼムクリップの先端、細い針金等でつまりを取り除くか、ノズルを水洗いしてください。
- 充填前は必ずクラック内及びその周辺を十分湿らせてください。
- 施工後12時間（20℃）以上は雨や散水等で濡らさないようにしてください。
- 気温が3℃以下の場合や降雨、降雪が予想される場合は施工を見合わせてください
- 浮きを伴うクラックは、使用量が大幅に増加する可能性がありますので、ご注意ください。
- 施工時の環境等によって、仕上がりの色が異なることがあるため、時間を空けて、同じ場所に施工する際はご注意ください。
- 内容物や容器の廃棄は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託してください。

6. 荷姿

材 料 名	入 目	標準施工長さ(m)
クラックイレイザー	400g ポリ容器	2.5～3.5